

らくぼう

楽しく 陽るく 荘全体で
お年寄りの人権を守ります。

その方らしい生活が出来るよう応援します。

最後までお世話させていただき準備が来ています。

特別養護老人ホーム楽陽荘 平成31年2月号 NO. 306

< お正月 >

今年は気持ちの良い晴れのお天気で一年がスタートしました。「あけましておめでとうございます」と皆で挨拶をし、元気で年を越せたことに感謝しながら、おせち料理やお雑煮をいただきました。三が日は、すごろくやおみくじ、福笑い、書初め等を行いました。すごろくでは「さあ～次は誰え？頑張りよ！」とか「3が出たらええなあ～」とか、皆でワイワイ声を掛け合いながら楽しみました。



福笑いでは、目隠しをして臨みました。周りの人が「もっと上、もっと左」と応援します。本人は「タオルから透けて見えたが一番確かなのに・・・」とつぶやきながらも、おでこの広い美人さんが出来上がりました。ほっぺたがお顔からはみ出ている愛嬌のあるようすにご満足のように、「かわいい娘ができた」と喜ばれていました。



書初めでは、いつもより真剣な表情で「あ～うまいこと書けん」とか「これでええんかなあ～」と言いながら取り組んでいました。羽根つきのかわりに風船バレーもしました。どの方も風船を打ち返そうと一生懸命に手を伸ばしていました。

< 柞田小学校からの贈り物 >



1月25日、柞田小学校を代表して2名の児童の方が楽陽荘に来て下さいました。1年間のアルミ缶を集めた収益金で買ったラジカセと、全校児童で手作りしたリースやカレンダーなどのたくさんのプレゼントをお年寄り一人一人に声をかけながら手渡しして下さいました。お年寄りもニコニコ顔で「ありがとう」と、とっても嬉しそうでした。みなさんの心のこもったプレゼント、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



< 防災訓練 >

楽陽荘では日中想定・夜間想定・水害対策と一年に3回防災訓練を行っています。1月に行った日中想定では、ベルカ（救護用簡易布担架）を使って階段を下りてから外に出るまでの避難方法を行いました。2月には夜間想定ということで、夜勤職員がお年寄りを防火扉へ避難させたり、外へ避難したりする訓練を行いました。3月には、地震により津波がくるという想定で、お年寄りを上の階へ運ぶ訓練も行います。消火器や消火用散水栓の取扱い方も復習し、確認をしました。実際、訓練に参加して行動してみると忘れていたことも多く、毎年の訓練の大切さを痛感します。災害には、想定外の事も多く起こりますが、初期消火・連絡方法・避難誘導を迅速かつ安全に訓練通りできるように常日頃より意識を持つことが必要だと思いました。

< 編集後記 >

今年のお正月も、多くのご家族の方が面会に来てくださり、ありがとうございました。お年寄りも、遠方から帰ってこられた家族との再会に話はずんだり、お孫さんやひ孫さんに会われてとてもうれしそうな表情でした。暦の上では立春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続いています。園でもインフルエンザやノロウイルスの感染が広がらないように手洗い・うがい・消毒に気をつけています。皆様もお身体を大切にお過ごしくださいませ。

今月広報担当：森川 横山 安藤